

「心はずむ 楽しい学校」 秋田市立明德小学校 校報 NO. 3 令和4年6月24日



蓮

はちすのかおり

香



学校教育目標 “強く、正しく、明るく” 未来を創る明德健児

児童会テーマ 歌声ひびかせ、心はずむ、楽しさあふれる明德小学校

「心はずむ 楽しい学校」 ～市教委指導主事訪問(6/17)より～

秋田市教育委員会の横山靖子先生と堀井桂先生の2名が来校され、学習面を中心とした指導を受けました。

研究主題「自ら学び、共に高め合う子どもの育成 ～ICTを活用した対話的な学びの充実～」を基に、各学級担任が授業をご覧いただき、協議の中で、課題についてご指導を仰ぎ、今後の指導に生かすものです。今回は、特に2年1組の国語科と桃組の算数科を特定授業として、じっくりと学び合いました。

ICTの活用に関しては、本校において昨年度に続き、力を入れて取り組んでいる内容です。子どもたちにとって、一人一台配付されているタブレット端末は、本校においては、身近な学習ツールとして、かなり定着しておりますが、今年度は、対話的な学びへと進化させていくことを目指しております。

今後も全職員で共有を図り、充実した学校経営を目指していきたくと願っております。



「心はずむ 楽しい学校」 ～1年校外学習(6/1)～

快晴の大森山動物園で、みんなで最高の思い出を作ることができました。午前中の動物との触れ合いや見学、美味しいお弁当タイム、そして午後のアソヴェの森での運動など、一日中、存分に楽しむことができました。私（校長）も1年生のかわいい子どもたちに囲まれ、「心はずむ、楽しい時間」を過ごすことができました。ご家庭でのお弁当などのご準備に心から感謝申し上げます。



「心はずむ 楽しい学校」 ～2年校外学習(6/2)～

午前中は金足農業高校で野菜の学習をし、お昼からはセリオンへ行ってきました。

金農では、初めに1周1kmある農場を案内していただき、その後、金農の先生と高校生に、野菜について詳しく教えてもらいました。子どもたちからは20以上の質問が出されました。

最後に、飼っている牛と、生後5日ほどの子豚を見せていただきました。

「赤ちゃんがびっくりするから静かにね」と言われていたので、ぐっと興奮を抑えました。



「心はずむ 楽しい学校」 ～「3年町探検(5/11～6/1)」～

計4回シリーズで行った「町探検」も無事終わり、みんなで地図にまとめ、学年のホールの壁面に掲示しました。保護者の皆様には、PTAの際にご覧になっていただきたいと思います。
これからいよいよ千秋公園を舞台にした勉強が始まります。頑張ります。



「心はずむ 楽しい学校」 ～「4年校外学習(6/9)」～

社会科の学習の一環として、午前中に「秋田市総合環境センター」に出かけ、廃棄物の現状や分別の大切さを学ぶことを通して、環境について理解を深めました。お昼は、御所野の公園で、お待ちかねのお弁当を食べました。午後は、岩城にある「秋田県防災学習館」と「秋田県総合射撃場」で、防災にかかわる知識や対処方法などを体験する活動をしました。



「心はずむ 楽しい学校」 ～「第1回学校運営協議会記録」より～

令和4年度 第1回学校運営協議会 記録

I 期 日 令和4年5月30日(月) 11:00～11:40

II 場 所 秋田市立明德小学校 校長室

III 会次第

1 はじめに…校長挨拶・出席者確認・任命証交付

2 会長・副会長の選出 会 長…加藤弘光様 副会長…泉真紀子様(協議会進行)

3 協議(記録: 教務主任)

(1) 令和4年度の学校経営について

①学校運営協議会・コミュニティ・スクールについての確認 ②学校経営説明→承認

(2) 意見交換(「校内一巡・授業参観」を終えた感想を含む ○委員から ◇学校から)

○授業を参観して、学級の明るい雰囲気や、子どもが楽しく授業を受けている様子がよい。パペットを使用するなどの工夫も、その要因の一つだと思う。5年生はデジタル教科書を、3年生はコラボノートを使用していた。進んだ取り組みをしている。

○楽しく明るい印象を受けた。子どもたちは、先生方に丁寧に指導してもらっている。先生方が優しく諭すように注意することもよいと思った。インターネットの使用は、危険性はあっても挑戦することはよいことである。

○環境整備がきちんとされている。ごみ一つ落ちていない。普段からできているのだと思った。コロナが落ち着いてきて、これからは、いろいろな行事をやってほしい。コロナで子どもが萎縮した分、広げてやってほしい。

○子どもたちが元気である。1年生の配慮を要する子どもへの対応は大変であると感じた。周囲の子どもも困っているのではないかと思った。他の子どもへの影響を考えていけない。タブレットを使用していたが、先生方が教材を作ることが大変だと思う。タブレットを持ち帰って、復習ができるようになればよいと思う。

○子どもたちが元気である。しかし、元気でありながら、他の子の発言をしっかりと聞く姿勢が身に付いている。6年生の短歌の学習は、難しいがよい経験になる。

○子どもたちが元気である。新年度がスタートしてまだ日が浅いのに、子どもたちが先生たちに馴染んでいる。学級の雰囲気づくりができていると感じた。今年度は、昨年度から取り組んでいるICTの研究の発展を見ていきたい。これから暑い季節がやってくる。学校でマスクを付ける場面と外す場面を決めてもらえるとありがたい。教室での授業中も、発言をするときだけ付けるというのもよいのではないかと思う。

○社会福祉協議会では、昨年度、「ふれあい工作教室」を夏休みと冬休みの2回行った。学校の授業とは違った経験をさせたいと考えている。担当から後ほど連絡があるので、今年度もお願いしたい。

◇防犯に対する予算が15万円ある。学校や地域の安全のために、何かよい使い道があったら教えてほしい。→○「人感センサー」はどうか。他校の情報があれば、考えやすい。→◇何かよい案があれば、電話でもよいので教えてほしい。

◇皆さんからのご意見は、大変参考になった。マスクに関しては、付ける場面、外す場面をはっきりさせ、指示したい。1年生の配慮を要する児童については、保護者にも協力を仰いで、関係機関にも働き掛けている。少しずつ改善が見られている。一人の教員が負担にならないように、複数の教職員で見ていきたい。

◇ICTの活用については、昨年度研究推進校として取り組み、たくさんの成果が見られたが、いくつか課題も挙げられた。今年度は、学年間でどういう取組をしているか、情報交換を昨年度以上に行い授業に取り入れるなど、昨年度の課題を踏まえ、全職員で更に研究を深めていきたいと考えている。次回の協議会で、教師も子どもも成長が見られるようにしたい。

◇タブレットの持ち帰りに関しては、昨年度はほとんどなかった。コロナも落ち着いてきている。これまで使ってきた教科書や資料など、紙のよさも大事にしながらやっていきたい。

○来年度の創立140周年について、今年度中に動き始めるのか。Pとしても、早めに分かれば助かる。→◇ここ数年、コロナで式典を行っていない学校が多い。夏休み明けあたりから実行委員会を立ち上げて、少しずつ準備を進めていきたいと考えている。

IV おわりに…校長挨拶・第2回学校運営協議会(令和4年11月8日)開催について

※次号で、「6年生の修学旅行」と「5年生のまんたらめ研修」などを特集する予定です。お楽しみに。
まもなく7月です。「熱中症対策」と「コロナ対応」を念頭に、「心はずむ、楽しい学校」を目指します。